

日本一のりんご産地である弘前市では、りんごを主体とする果樹の産出額が全体の8割以上を占める一方で、果樹生産は他品目に比べて労働集約的であることから、高齢化や人口減少が進む中において、補助労働力不足への対応が喫緊の課題となっている。

このような課題の解決を図るため、行政や農協、生産者団体等の産地関係機関が一体となって、農業者の「働き方改革」への理解促進及び労働者受入環境の改善・強化を図りつつ、新たな担い手や補助作業員の確保・育成を図る。

事業実施主体構成員

弘前市、青森県中南地域県民局、(公社)あおもり農業支援センター、弘前市農業委員会、つがる弘前農業協同組合、相馬村農業協同組合、津軽みらい農業協同組合、(公財)青森県りんご協会、青森県農業共済組合、青森県農業法人協会

実績値 (目標値)

- ①新たに労働力を受け入れる生産者数：R2実績：146経営体
R3実績：152経営体
(目標値：100経営体)
- ②労働環境に満足している被雇用者の割合：R2・R3実績：90%
(目標値：90%)

本事業での取組結果

※R3取組内容は下線部分

ア 労働力の需給状況の把握 (地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等)

- 令和元年度に弘前市が実施した「今後の営農意向にかかるアンケート調査」(対象：市内農家約6,500世帯)では、回答者2,606件のうち約76%が今後10年間における農作業の人手について「既に足りていない」または「いずれ足りなくなる」と回答した。
- 令和3年度に開催した初心者向けりんご研修会で行ったアンケートでの「従事先を決めるにあたって、重視することをお知らせください」という設問での回答では「受入農家の人柄 (51%)」、「通勤距離 (47%)」、「就労時間 (41%)」、「園地でのトイレの有無 (37%)」の順となり、働きやすい職場環境を求める声が多かった。

イ 労働力の確保・育成 (情報発信等)

- 弘前市管内における「農業の無料職業紹介所」の周知用チラシを作成。市内全域65,496世帯にポスティング広告を実施。
- 補助労働力の掘り起こし・育成を目的に初心者向けりんご研修会等を開催。周知用チラシを作成し、新聞折込広告や大学やスーパー等への設置により、ターゲット別の周知を実施。
令和3年度では市内53,093世帯にポスティング広告を実施。
R2実績：全5回のうち2回開催(第2回(6/27)、第3回(9/19))延べ参加者84名 ※コロナの影響により3回中止
R3実績：全4回開催(第1回(5/22、5/26)、第2回(6/5、6/9)、第3回(10/9、10/13)、女性向け(11/4))延べ参加者164名)
- 多様な人材の確保を目的に、1日バイトアプリ「デイワーク」の運用をR3年10月より開始。
周知用チラシを作成し、市内53,031世帯にポスティング広告を実施するほか、民間企業の副業の促進を図るため弘前商工会議所へ2,800部配付。
R3実績：登録生産者数28名、登録求職者数372名、マッチング件数372件(マッチング率90%)
- 農業補助労働力募集PR動画の製作
市内外の補助労働力のさらなる掘り起こし・確保を図るためPR動画を製作し、動画サイトや各種イベントでの活用を予定。

ウ 労働力等のマッチング及びデータベース化

- ・農業の無料職業紹介所（弘前市及び3JA）におけるマッチング
R2実績：求人者数135件、求職者数105件、マッチング件数67件 R3実績：求人数129件、求職者数87件、マッチング件数53件
- ・初心者向けりんご研修会の会場に無料職業紹介所を設置し、研修生と農業者のマッチングを実施。
R2実績：登録者数7名、マッチング6件 R3実績：登録者数12名、マッチング11件

エ 農業の「働き方改革」への取組み（課題調査及びセミナー開催等）

- ・農業者等を対象に、受入環境の改善・強化を目的とし「農業の労働力確保セミナー」を開催。
R2実績：2月17日開催（参加者数90名） R3取組：2月11日開催予定が新型コロナウイルス感染症の影響により、3月以降へ延期。
- ・令和2年、3年に実施した「農業の就労環境や労務管理に関するアンケート」（対象者：弘前市休職者等マッチング緊急支援事業の被雇用者527名）では、働き手側の労働環境への満足度や改善点を調査。農業者に求める改善点として多かったのは園地でのトイレ問題であった。
※市単独事業において、仮設トイレの購入を支援中（補助率：1/2（上限：10万円））

オ 他産地・他産業との連携による労働力確保

- ・農福連携による有袋栽培の維持推進に向けた取組
R2実績：研修会開催（6/29 3事業所6名の障がい者が参加）、研修会後1事業所3名が農作業従事（受入農家1名）、有袋栽培練習キット製作
R3実績：有袋栽培練習キットの貸与に係る説明会を開催（4/28 5事業所に貸与）、研修会開催（6/18 3事業所12名の障がい者が参加）、
研修会後4事業所22名が農作業従事（受入農家4名）

本事業取組みにおける成果項目

1日バイトアプリ「デイワーク」の運用

デイワークの運用により、求職者が集まりにくい地域でのマッチングも多くみられた。また、年代別では20代、職業別では学生の応募が多い結果となった。

- ・登録生産者28名、募集掲載生産者数17名、募集件415件
- ・登録求職者数372名、応募求職者数196名※、応募件数681件
- ・マッチング件数372件、マッチング率90%
※別紙にて年代別、職業別を記載。

次年度以降の取組み内容

- ①初心者向けりんご研修会等の開催
りんご生産に係る新規人材の掘り起こし及び育成を目的として、りんご生産に携わることに興味のある方を対象に、りんごの生産工程毎（摘果、袋かけ、着色管理、収穫）の基礎的な研修会を開催。
- ②1日バイトアプリ「デイワーク」の利用者拡大に向けた取組
令和3年10月1日から本アプリの運用を開始（2JA参加）しており、令和4年はさらに1JAが参加予定。
- ③就労環境等の向上に向けた取組
弘前市及びJAの無料職業紹介所等を利用し、被雇用者を雇用しようとする農業者に対して、被雇用者が求める就労環境等についてのアドバイスを行う。

デイワークチラシ表面

農業に興味があるなら
まずバイトで体験
農業をリアルに実感!

あなたの方、やさしい農家さん、大集合
あなたの休みの日だけ

1日農業バイト

made in Japan.

「daywork」で検索

App Store からダウンロード GET IT ON Google Play

ひろさき農業総合支援協議会 × 1 daywork
(事務局: 弘前市農林部農政課)

デイワークチラシ裏面

求職者の皆さん 弘前市内で
農作業をしてみませんか?

初心者OK! 短時間でもOK!
気軽に地元の農業へご参加ください!

完全無料

1日バイトアプリ デイワーク
1 daywork

ダウンロード方法
App StoreまたはGoogle Playにアクセスしdayworkを検索するか、
カメラでQRコードを読み取り、表示されたアプリをダウンロードし
てください。

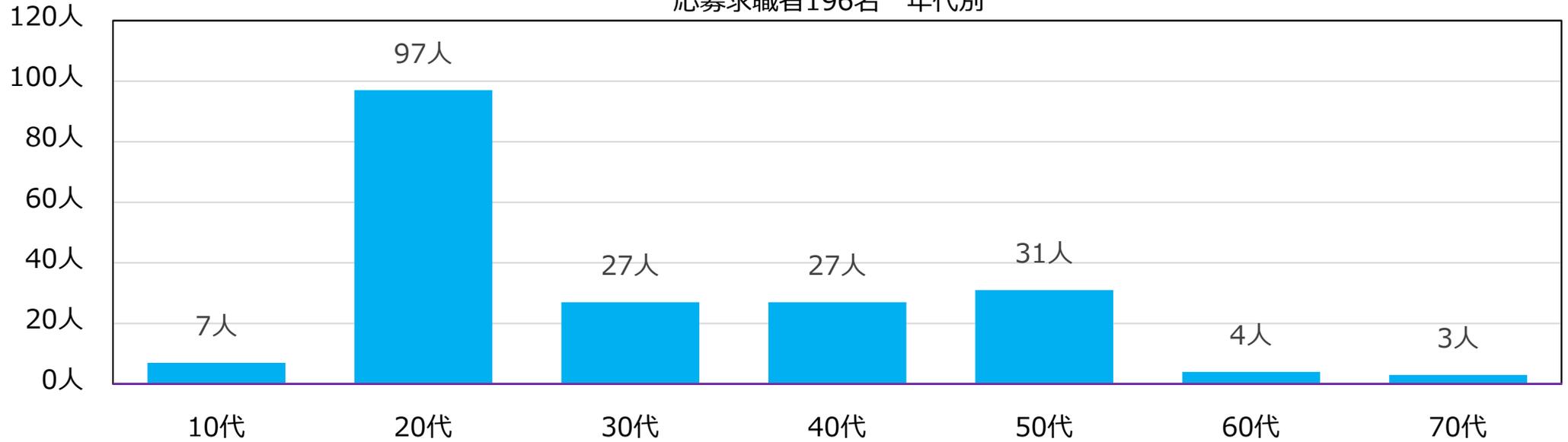
iPhone/iPad App Store Android Google Play

～よくあるご質問～

- Q どのようなアプリですか?
A 農業の仕事を一単位で探すことができるアプリです。自分が働ける日に募集を出している生産者の募集内容を確認して、自分に合った仕事に応募してみましょう。
- Q アプリの使用に料金はかかりませんか?
A 完全無料ですので料金はかかりません。
- Q 1日単位とありますが同じ生産者さんのところで継続して働くことはできますか?
A 依頼主が継続して募集を出している場合は継続して応募することができます。(必ず採用になる訳ではありません。)

ひろさき農業総合支援協議会 (弘前市農林部農政課 ☎0172-40-7102)

応募求職者196名 年代別



応募求職者196名 職業別

